

NO. 1	議席番号	氏 名	質問事項・要旨及び答弁者
	5	平 野 武 志	<p>1. 人口減少対策の施策実行について</p> <p>人口減少対策は、毎回の定例会や総務・経済常任委員会で常に議論されている我が町にとって最重要課題です。行政もようやく重い腰を上げて、今年の6月から人口減少対策検討会議を4回ほど重ね、総務・経済常任委員会で経過状況の報告を受け事務調査を行いました。</p> <p>内容については、合計28件の具体的事業が検討されており、人口減の歯止め策に期待するところであります。しかしながら、新年度に実施すべきと診断されているのが2事業と、積極性に欠く残念な判断となっています。</p> <p>国から示されるであろう地方創生の地域活性化事案や予算配分を考慮し、他市町の事業を見定めながら進めるのではなく、我が町として独自策を新年度から積極的に実施すべきです。</p> <p>事業によっては、大きな予算をかけずに済む事業や予算をかけても採算ベースに合う事業もあります。</p> <p>あとは、大森町長の「人口減を食い止める」という強い思いを組み込んだ采配次第です。</p> <p>総務・経済常任委員会では、町長の思いによっては即実行に移せる事業もあるとの含みも感じましたので、人口減少対策検討会議で示された事業、あるいはそれ以外の事業で新年度(年度途中)から取り組む町長の意気込みと事業名をお伺いします。</p> <p>2. 高齢者の生活支援について</p> <p>国の法律改正に伴い、我が町も地域包括ケアシステムの構築を進めています。名称としては非常に解りにくいのですが、簡単に言うと町長がいつも掲げる「福祉都市 きこない」。いわゆる高齢者が安心して暮らせるまちづくりです。</p> <p>今現在も取り組んでいる高齢者向けの施策やシステムを更に地域の自主性に基づき、充実させていこうということです。</p> <p>国は、団塊の世代が75歳以上となる2025年までに地域包括ケアシステムの構築を目指すと記していますが、我が町木古内町においては高齢化率が42.61%（平成26年4月現在）あり対応が急がれます。他の自治体の取り組みを見ている余裕などありません。これまでの町長や関</p>
			町 長
			町 長

係機関の懸命な高齢者への思いのおかげで、幸いにも我が町は施設の充実は図られているほうだと思います。どの町よりも早く、地域包括ケアシステムの構築を実現し模範となるべきではないでしょうか。

第6回総務・経済常任委員会において、現状の取り組みについての報告を受けましたが、資料を見ても国からの添付資料ばかりで、我が町の進捗状況が全然見えてきません。地域包括ケアシステムの構築に向けた会議は9回ほど開催されておりますが、現状進めている調査や検証状況について、下記の項目について伺います。

- (1) 我が町でできる介護サービスでの調査結果から出てきた課題
- (2) 我が町での保険外サービスの不足点
- (3) 介護老健入所者、入院患者から出てきた要望の内容
- (4) 介護老健施設職員・病院職員・福祉に関わる職員の要望内容
- (5) 病院通院者の要望内容
- (6) あんしんネットワーク事業の各地域支援の課題
- (7) 地域包括ケア病棟設置による病院の経営推移の見解

また、町民からの下記要望事項について、見解をお伺いします。

- (ア) 自宅で介護されている高齢者の、家族の都合による短期入所先の斡旋(1)
- (イ) 福祉灯油予算の拡充・介護用品給付・外出支援事業・食事サービス事業・公営住宅への優遇入居・高齢者向けの資金貸付制度等の様々な施策の実行(2)
- (ウ) 介護に従事する職員の賃金の見直し(4)
- (エ) 病院送迎バスの自宅付近乗降と通院時の娯楽的サービスの展開(5)
- (オ) 各町内会役員の高齢化による地域包括ケアシステムへの不安視
(各町内会の負担が多くなっても対応できない)(6)

※アイウエオの質問後の()ナンバーは、上記検証状況の質問と関連するナンバーです。